

横浜市訪問介護連絡協議会 令和2年度 第7回幹事会

場所	リモート会議
日時	令和3年1月19日(火) 18:30~19:40
議題	<p>(1) 資格取得支援事業申請状況(横浜市)</p> <p>(2) 離職防止研修(横浜市)</p> <p>(3) 多職種連携委員会研修について</p> <p>(4) YHKのホームページについて</p> <p>(5) その他</p>
出席者 (敬称略)	<p>&lt;役員&gt;佐藤・細川・澤田・芳原・真壁・斎藤・笠原・新井・正木・浅田・北村・水梨</p> <p>&lt;各区代表・幹事&gt;(事業所名略) 鶴見区:本間 神奈川区:木俣 西区:神崎 南区:花摘 瀬谷区:永原</p> <p>欠席区:中区、都筑区、保土ヶ谷区、泉区、戸塚区、栄区、港北区、青葉区</p>
議題	<p>(1) 資格取得支援事業申請状況(横浜市 早川係長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12/末現在966名が受講し、本日までに38名が申請した。リーフレットはハローワーク、市役所にて配布しており、振興会に申込みと1事業所に20部まで送付される。また、ラジオ日本の1月21日および22日の16:30から5分間、横浜市の広報枠を利用し、資格取得支援事業について告知を行った。</li> </ul> <p>(2) 離職防止研修(横浜市 早川係長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回目の研修が1月27日に集合研修とオンライン研修により行われる。振興会ホームページから申込み。1回目の研修では、すぐに実践につながるような内容であった。</li> </ul> <p>(3) 多職種連携委員会研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:2月25日(木) 13:30~15:00</li> <li>・内容:コミュニケーションに関する3つのポイントについて(仮) <ol style="list-style-type: none"> <li>1.人間関係を円滑に保つポイント</li> <li>2.目標達成のためのチームワークづくりのポイント</li> <li>3.相互理解を深めるために必要なポイント</li> </ol>                     前回の研修と同様のwebによる形式                 </li> <li>・講師:自動車技術会 フェロー 関東支部顧問 新井 康久 氏</li> <li>・申込期間:1/18(月)~2/16(火) 2/18受講者URL送信 2/24,25再送信する。</li> <li>・エントリー方法:YHKホームページより受講者が直接申込み。</li> <li>・受講者職種:YHK会員を第一とし、参加希望者が少なければ、その他多職種連携会員からも参加を募る。</li> <li>・1/7に事前の打合せを行い、興味深い話が聞けた。YHK役員からの課題を提示し、そこに質問をいただき相互理解を深めた。チームをまとめた立場から、ヒントがもらえるのではないかと。</li> </ul> <p>(4) YHKホームページについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブログコーナーを新設した。今は役員が書いているが、協議会の会員ならば誰でも参加する形にしたい。1回目は佐藤代表、2回目は澤田副代表が書いている。</li> <li>・ホームページでは、いろいろな情報が増えてきているので、ぜひ見てほしい。</li> </ul>

(5) その他

- ① 新型コロナ緊急事態宣言発令に伴って、利用者への周知文書  
3種のひな形を用意した。各事業所の参考になるよう幹事に配布する。
- ② 総会準備について  
書面での手続きとなるが、オンラインで参加できる形にしたい。基調講演については検討中である。
- ③ 次期役員について  
募集中である。声掛けしているので、協力してほしい。
- ④ 横浜市広報番組「ホット横浜」取材について  
1/12（火）市役所にてラジオ日本の横浜市広報番組「ホット横浜」の収録に参加した。1/21（木）放送分は横浜市健康福祉局が担当し、1/22（金）放送分はYHKが担当した。YHKではヘルパーの魅力を、特に主婦層に向け、ライフスタイルにあわせて仕事ができることを訴えた。ラジオ日本のホームページからも聴くことができる。

その他、幹事より、新型コロナに関し次の意見が出された。

- ・濃厚接触者になった利用者、発熱したヘルパーが出たが、大きな混乱は無かった。
- ・ショートステイで陽性者が出たため、予定したショートステイが中止となり、訪問介護が入ったことがあった。また、ヘルパーの家族が濃厚接触者になった場合に備え、会社でPCR検査キットを用意している。
- ・陽性あるいは濃厚接触者の利用者にはサービスを行わないところがあると聞いた。
- ・PCR検査に時間がかかる。結果が出るまでサービスを中止している。
- ・濃厚接触者かどうかの連絡が来ない。
- ・横浜市以外から横浜市への連絡が遅い。連絡に2週間かかることがあるので、熱が出なければ濃厚接触者では無いとの話があった。
- ・PCR検査は時間がかかるので、抗原検査をしたほうが良いという話が看護師からあった。
- ・利用者がマスクをしていない時、濃厚接触者になるなら、サービスを中止せざる得ない。
- ・陽性であっても入院できない人へどう対応するか。判定が出る前の人に防護服で対策を取り、対応したことはあった。
- ・防護服を着ていくと、コロナ感染者が出たと分かってしまうことになる。
- ・自宅療養者へのフォローはどのようにしたらいいのか、横浜市でも検討してほしい。

配布先	上記出席者及び欠席区幹事
次回開催日	未定